

第30回小出記念日本語教育研究会

日時：2021年6月26日(土)・6月27日(日) オンライン開催

参加費：会員 無料 非会員 2,000円 申込締切：6月18日(金) 定員：400名

事前申込登録：会員の方はMLをご参照ください。 非会員の方は以下よりお申込みください。 <https://koide30th210626.peatix.com>

6月26日(土)

◆◆◆ 講演 (10:30~12:30) ◆◆◆

「withコロナ時代における日本語授業の設計—インストラクショナルデザインの手法を生かして—」

【要旨】インストラクショナルデザイン(ID)の研究成果として、ARCSモデルやIDの第一原理など、授業の効果・効率・魅力を高める汎用的な手法が開発され、様々な領域で広く使われるようになった。コロナ禍でオンライン授業を組み込むことが求められることになった今、IDを日本語授業の設計にどのように役立てていくことができるだろうか。オンライン学習環境で対話と構造の足場かけを用意し、教師に依存しない自律的学習者を育てるためにはIDを学習者にも教えるという視点が重要であることを含めて、日本語授業へのIDの応用可能性を考えてみたい。

【講師】鈴木克明氏(熊本大学 教授システム学研究センター 教授)

【コメンテーター】保坂敏子(日本大学 教授/小出記念日本語教育研究会 理事)

◆◆◆ 第30回記念企画 座談会 (13:30~15:00) ◆◆◆

「『現場と研究が一体となってこそ日本語教育の進展がある』を再考する」

【登壇者】上野田鶴子(小出記念日本語教育研究会 顧問)・中村妙子(小出記念日本語教育研究会 顧問)
砂川有里子(筑波大学 名誉教授/小出記念日本語教育研究会 元理事)

【司会】金澤協子(小出記念日本語教育研究会 理事)

◆◆◆ ポスター発表 (15:30~17:10) ◆◆◆

【ポスター発表第1会場】

和語動詞と中国語動詞の対照研究 - 「受ける」と“受”の共起表現から -
黄叢叢(明治大学大学院生)

中国人日本語学習者の複合語和製英語の意味推測
- 推測が容易な語・困難な語の特徴は何か -
呉梅(明治大学大学院生)

「日本語表現」科目における実践的敬語教育の考察
杉本あゆみ(金沢学院短期大学)

【ポスター発表第2会場】

語り手にとって不確実な情報はいかに伝達されるか
- 説明・推薦タスクのある日中接触場面会話を例として -
立見光貴(名古屋大学大学院生)

三者会話における割り込み発話
- 日本語接触場面と中国語母語場面の比較分析 -
丁一然(東京外国語大学大学院生)

話者の発話を引き出す効果的な質問は何か
- OPIコーパス調査に基づく分類の試案 - 堀恵子(筑波大学ほか)他4名

【ポスター発表第3会場】

ICTの活用による学習者の自己表現をサポートする教室活動の実践報告
武田雅史(医療創生大学)・佐藤蘭礼(東京国際大学)

自己調整学習サイクルに基づいた授業外の自律学習支援
- 目標設定と計画、内省に着目して - 山下順子(成蹊大学)

日本語アクセント聞き取り練習プログラムNALA-Jスマホ対応版の試作
河津基(宮城学院女子大学)

【ポスター発表第4会場】

日本語科目と専門科目をつなぐ橋渡し科目の役割について
阿久澤弘陽(京都大学)他3名

次世代に対応可能な日本語教育のための発展的評価の活用
- 正規学部留学生向けアカデミック・ジャパニーズのクラスを対象に -
数野恵理(立教大学)他6名

6月27日(日)

◆◆◆ 口頭発表 (10:20~13:30) ◆◆◆

【口頭発表第1会場】

大学の日本語教員養成課程で学ぶ大学生が持つライティング指導に対する意識
- 難しさに焦点を当てて -
坪根由香里(大阪観光大学)・鎌田美千子(東京大学)

教師に必要な会話の知識とはなにか
- 雑談場面「ほめる・愚痴る・経験を語る」の分析から -
張承姫(関西学院大学)・山本真理(同)・森本郁代(同)

ハイブリッド型中堅日本語教師研修の開発と実践
古内綾子(明治大学)・齋藤伸子(桜美林大学)・池田智子(同)

言語教育における「態度」概念を構造化する
宇佐美洋(東京大学)

移住地における日本語教育の意義が再構築される転機と経験への意味づけ
- コロンビア共和国の日本語学校創設者の語りの分析から -
近藤弘(筑波大学大学院生)

【口頭発表第2会場】

高校での日本語教育プログラムにおける「連絡帳」の運用とその問題点
- 外国人生徒への日本語学習支援のための連携体制構築をめざして -
大津友美(東京外国語大学)・浜田かおり(同)

高校生の日本語ボランティア活動での学び：
A高等学校でのインタビューをもとに 柏木あい(京都外国語大学大学院生)

日本語学習者の口頭運用能力を予測する複合的客観指標の検討
宮本真有(名古屋外国語大学)

オンライン会話練習の効果、実用性、実施の実際
松尾彩花(パデュエ大学大学院生)

オンライン環境を生かした体験的な学びの創出
- オンラインにほんご人フォーラムの事例から -
中尾有岐(国際交流基金関西国際センター)他3名

詳しいプログラムはウェブサイトをご参照ください。プログラムに変更があった場合もこちらでお知らせいたします。 <http://koidekinen.org/>
小出記念日本語教育研究会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 澁川研究室 気付
主催：小出記念日本語教育研究会 / 後援：国際基督教大学 グローバル言語教育研究センター

